

胸部の放射線治療を受ける方へ

これから放射線治療が始まります。

治療を最後まで受けていただくためにも、次のことに注意しましょう。

1. 放射線治療について

- ・CT検査時と同じ体勢で治療を行います。
- 義歯・眼鏡・補聴器・帽子・カツラ・ヘアピン・ヘアゴム、アクセサリなど全て外して頂きます。
- ・放射線治療は痛みや熱などを伴う治療ではありません。
- ・治療は決められた回数の治療が必要です。
- ・治療前にTomoTherapyに備わっているCTで毎回撮影をして位置合わせを行います。
- ・位置合わせを含めて一回の治療時間は約30分です。
- ・治療中に装置から大きな音がしますが、心配なさらないでください。
- ・治療部位に正確に放射線があたるように、照射中はお体を動かさないでください。
- ・治療中に息を止める必要はないので、安静な呼吸をしていてください。
- ・皮膚の印が薄くなった場合は、スタッフが書き直すのでご自分でお書きにならないでください。
- ・治療中は治療室に患者様お一人になりますが、カメラで様子を見ていますのでご安心ください。
- ・装置のトラブル等で緊急に治療の中止があります。ご了承ください。
- ・治療は休まず毎日続けて行うことが基本ですが、体調が悪いときや用事ができてしまったときはお休みしても大丈夫ですので連絡してください。
- ・お休みは連続4日以上にならないければ治療効果には影響しません。

2. お体の変化について

治療が進むにつれて、治療部位が赤くカサカサになることがあります。多くの場合は日焼けのように皮膚が黒くなり、むけて、1か月程度で元に戻ります。お体に変化がありましたら、ご自分で判断せずにご相談ください。

3. 日常生活について

- ① お体の印は治療の際、確実かつ正確に放射線を照射するための大事な印です。恐れ入りますが印はこすらないようお願い致します。印が消えてしまった場合、自分で書いたり貼ったりしないでください。技師が照射前に印を書き足します。テープのかぶれがある方はスタッフに相談してください。
- ② 熱い湯、長時間の入浴は避けましょう。また入浴剤の使用はお控えください。刺激の少ない（弱酸性）石けんを使い、よく泡立ててからなでるように洗いましょう。お体を拭く際は、タオルで押さえるようにしてこすらないようにしましょう。
- ③ 治療しているところには何も塗らず、貼らないでください（制汗剤、湿布など）。
- ④ 塗り薬は医師が処方した薬を指示されたとおりに使用してください。ただし、治療直前には塗らないようにしてください。
- ⑤ 治療部位を締め付けるような下着、服装は避けましょう。
- ⑥ ボディースーツやワイヤー入りのブラジャーは禁止です。
- ⑦ 治療部位の脱毛は治療が始まる前までに行い、治療中はお控えください。
- ⑧ 温泉、プール、サウナ、岩盤浴、海水浴は禁止です。
- ⑨ 治療範囲にアイスノン、冷却シート、ホッカイロなどは禁止です。
- ⑩ 栄養のバランスが取れた食生活を心掛けましょう。熱すぎたり冷たすぎるもの、酸味や刺激の強いもの、固すぎるものはお控えください。

- ① 激しい運動でなければ行ってもいいです。
- ② 治療部位は直射日光を当てないようにしましょう。
- ③ 予防接種を受ける際、内服薬?は医師に相談してからにしましょう。

4. 治療終了後の注意

非常にまれな合併症ですが、治療終了後6ヶ月以内に「放射線肺炎」が起こることがあります。咳や熱、胸痛、風邪症状がみられた場合には、すぐ医師にご相談ください。

<< 気になること、不安なことがあれば我慢せずにスタッフにご相談ください。 >>

医療法人DIC 宇都宮セントラルクリニック
放射線治療センター

TEL 028-657-6700

FAX 028-657-6702

(平日9時～17時)